

# ふるさと光の会だより

第22号  
令和3年1月



光市ホームページがリニューアル！  
スマートフォンでも見やすくなりました。

←光市ホームページはこちら

発行 ふるさと光の会事務局

連絡先 〒743-8501 光市中央六丁目1-1 光市企画調整課  
TEL 0833-72-1407 FAX 0833-74-1041  
E-mail kikaku@city.hikari.lg.jp

## 令和3年度 総会・交流会について

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を踏まえ、会員の皆様の健康と安全の確保を最優先するため、7月4日に開催を予定していた総会・交流会を中止しました。令和3年度は、7月3日（土）12時から、例年と同じく、東京グランドホテル（東京都港区）での開催を予定

### 【開催予定】

日時 令和3年

7月3日（土）

12時から

場所 東京グランド

ホテル

※開催の有無を含め、詳しくは、改めてご案内します。

● 皆様の近況や、「ふるさと光」での思い出を、事務局までお寄せください。いただいたエピソードは、今後、会報等でご紹介したいと考えています。

● 住所の変更がある場合は、お手数ですが、事務局までご一報をお願いします。



令和元年度の総会・交流会の様子

していましたが、新型コロナウイルス感染症は未だ収束の気配を見せず、開催には、慎重な判断が必要です。開催の有無については、状況を見ながら、役員会で協議を行い、会員の皆様に改めてお知らせします。7月には皆様と笑顔でお会いできることを願っています。

## 市政情報

任期満了に伴い、令和2年10月25日に投票開票された光市長選において、現職の市川熙氏が4選を果たしました。

所信表明では、市民の思いをしっかりと受け止め、立ち止まることなく歩みを進めることで、市民が心から幸せを感じられる「ゆたかな社会」の実現に全力をささげる覚悟を述べました。

任期の4年間においては、「災害に強いまちを創る」「地域医療を守る」「新型コロナウイルス対策の展開」、この3つの課題に立ち向かうとともに、目まぐるしく変化する時代に生まれるさまざまな問題に対して、粉骨碎身の覚悟をもって取り組む決意を示しました。



市川熙市長

市長選と同日に投票開票された光市議選においては、現職11人、新人7人が当選しました。

11月20日に開催された議会臨時会において、議長に中本和行氏、副議長に林節子氏が選出されました。



中本和行議長



林節子副議長

また、森重副市長の任期満了に伴い、12月2日に開催された議会定例会において、吉本英夫氏が副市長に選任されました。



吉本英夫副市長

## 令和2年 光市での主な出来事

### 「里の厨」レジ通過者2百万人を突破

3月28日



平成23年にオープンして以降、農業振興拠点施設「里の厨」(東荷)のレジ通過者が2百万人を突破しました。

地産地消の推進と市内産品の魅力発信に取り組んでいます。



### 島田川工業用水道への給水開始

7月22日

平成25年度から山口県企業局が進めてきた島田川工業用水道事業の工事が完了し、7月22日に島田ポンプ場で通水式が行われました。

今後は、周南コンビナート(周南市、下松市)の工場を支える工業用水(日量1万4100m<sup>3</sup>)として、母なる島田川の水が活用されます。



### 東京大学の大漁旗プロジェクトに参画

10月16日



東京大学の「日本各地を繋ぐ大漁旗プロジェクト」に参画し、市民や、市内企業・団体などによる「SDGsの目標達成に向けた取り組み」をちりばめた大漁旗が製作されました。

※SDGs(エスディージーズ) 持続可能な開発目標

### 児童・生徒に1人1台のパソコン端末を配備

12月25日

国のGIGAスクール構想の実現に向け、児童・生徒に1人1台貸与するパソコン(タブレット)端末や、各教室の大型テレビなど、小・中学校のICT環境が整備されました。

災害や感染症の発生等の緊急時に子どもたちの学びを保障するため、臨時休業時は、自宅でも端末を活用できるようにしています。



## 移住相談会も新しい形に

これまで主に東京交通会館(有楽町)で開催されていた移住相談会は、新型コロナウイルス感染症の影響で、実施が見送られています。

地方移住への関心が高まる中、代替策として、オンライン(Web)上で地域を紹介したり、移住相談を行ったりする「オンライン移住フェア」などが開催され、光市も積極的に出展しています。

次回は、2月7日(日)に開催される「第3回オンライン全国移住フェア」への出展が予定されています。「教えて!田舎の子育て事情」と題したトークイベントにも出演し、「おっぱい都市宣言のまち」光市をPRします。



詳細はこちら→  
(光市ホームページ)



## 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊は、都市地域から地方に移住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の「地域おこし支援」や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組みです。任期は概ね1年以上、3年未満です。



交流施設「里の灯」でのハロウィンイベント

## 束荷地区では… 平成30年7月から川口隊員が活躍中

川口隊員は、心理カウンセラーや会社員を経て、東京都瑞穂町から光市第1号の地域おこし協力隊員として着任しました。

「空き家の活用」をメインテーマに活動し、束荷地区の住民と一緒に空き家を改修し、交流施設「里の灯（あかり）」をオープン。束荷小学校児童の各種体験イベントや、幼稚園児の田植え・稲刈り体験などを開催しています。



## 伊保木地区では… 農地活用に取り組む隊員を募集中

温暖で日照時間が長い地域性を利用し、かつては、柑橘類を中心とした農業が盛んな地区でした。現在は、担い手不足から、農地の荒廃が大きな課題です。一方で、地区を盛り上げようと劇団を結成するなど、さまざまな地域活動に取り組んでいます。

この伊保木地区でアイデアや経験を活かして、「農地の有効活用」をメインテーマに活動しながら、地域活動の支援を行い、地域を盛り上げてくれる隊員を募集しています。



## テレワーク移住の強い味方…光市のコワーキングスペースのご紹介

コロナ禍において導入されたテレワーク・リモートワークが、働き方を大きく変えるきっかけの一つになるとうとしています。光市にあるコワーキングスペースなどをご紹介します！

### 浅江 コワーキングスペース「ヒカリバ」



市内では初の本格的なコワーキングスペース。仕事や勉強などの独立した活動だけではなく、ものづくりサークルやプログラミングクラブなどの地域の活動を含めた幅広い活動の場として、また、会議



室を利用した打合せ場所としてなど、地域に根ざした地域の人のための活動拠点です。

### 三井 レンタルスペース「パスゲイトカレッジ」



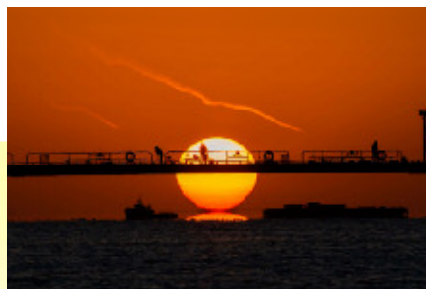
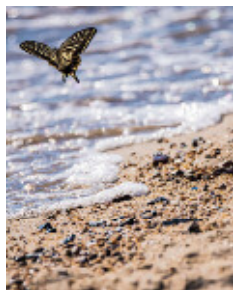
築175年の古民家をリフォームした貸しスペース。庭の見えるリビングは、お稽古ごとや勉強会、コミュニティの場として活用可能。開業前に飲食業のシミュレーションができる「お試しキッチン」や、



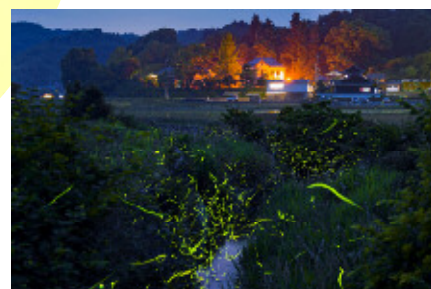
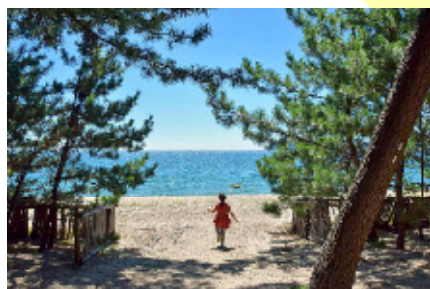
YouTube 等の配信が可能なオンライン配信スタジオを備え、「何かを始めたい人」を応援します。



令和2年4月から11月に開催された、光市の魅力を発信するフォトコンテスト  
「見つけた！ひかりの“光”」の応募作品の中から一部を紹介します。  
※コンテストの受賞とは関係ありません。



見つけた！  
ひかりの“光”



コンテストの入賞作品は、市が作成するポストカードの写真に採用され、令和3年3月号の「広報ひかり」で市民に配布されます。

## ふるさとを応援！ ～ふるさと光応援寄附金(光市へのふるさと納税)～

光市では、通常のふるさと納税に加え、「新型コロナウイルス感染症対策支え合い寄附金」を募集しています。この寄附金は、新型コロナウイルス感染症により大きな影響が出ている経済活動や子育て・教育環境等における対策に活用されます。(お礼品の贈呈はありません。)

皆様からの寄附金は、光市のまちづくりの大きな原動力となっています。光市がさらに元気なまちになるよう、引き続き、寄附金を通じて応援していきましょう！

皆様からの寄附金は、光市のまちづくりの大きな原動力となっています。光市がさらに元気なまちになるよう、引き続き、寄附金を通じて応援していきましょう！

ひかりバナナ



2位

とらふく  
ふく刺し  
(2～3人前)



1位

【次点】  
IH対応ステンレス  
フライパン26cm



チョコアイスボール  
セット(65粒入)



3位

寄附返礼品ランキング(R2年4月～R3年1月)

「ふるさと光応援寄附金」の問合せ

光市 広報・シティプロモーション推進室

TEL: 0833-72-1409

Eメール: kouhou@city.hikari.lg.jp

